

平成31年度名古屋大学文学部

推薦入試学生募集要項

名古屋大学文学部

名古屋市千種区不老町B4-4(700)

郵便番号 464-8601

電話 052-789-2206・2207

熊本地震により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では、平成28年4月に発生した熊本地震による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料の免除を実施いたします。

詳細については、本学ホームページを確認してください。

○本学ホームページ

URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

入学案内→学部入試の概要→学部入試に関するお知らせ

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○文学部ホームページ

URL <http://www.hum.nagoya-u.ac.jp/>

名古屋大学の教育を支える3つの方針

●名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「**学術憲章**」(2000年制定)で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的發展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をとともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1)名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2)名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇氣ある知識人を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り6名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれない自由闊達な学風の下、多数の進取の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「**勇氣ある知識人**」を育成する人間像として示しています。

「勇氣ある知識人」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「勇氣ある知識人」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって育成しています。

●3つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、②教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、③入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)という3つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修士生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら3つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、3つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた3つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、各学部の教育目標と基準に沿った資質・能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていく「勇氣ある知識人」として、それぞれの学術分野で、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、未来の「勇氣ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「勇氣ある知識人」の育成を目指しています。「勇氣ある知識人」として必要な資質・能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身につけた土台の上に立ってこそ、勇氣ある知識人への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせた入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

文学部の教育を支える3つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（1）育成する人材像（教育目標）

文学部は、以下に示す資質・能力等を備え、卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学位を授与します。

文学部が授与する学位は、言語・文化・歴史に対する深い探究心と社会・環境への強い関心を持ち、高い異文化理解力を備えた人材であり、また、人文学的教養を通して、国際社会・地域社会の諸問題の解決に寄与しうる人材であること、そして、「高い異文化理解能力と言語運用能力」、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」、「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション力」、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を備えていることを証します。

（2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

文学部の卒業要件は、原則として4年以上在学し、所定の授業科目のうち、全学教育科目を48単位以上、専門科目を84単位以上、合計132単位以上を履修し、かつ卒業論文の試験に合格することです。なお、専門科目の単位数には卒業論文10単位が含まれます。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部では、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げる資質や能力を身につけた人材を育成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ①全学教育科目の中の言語文化科目によって、「高い異文化理解能力と言語運用能力」の基礎を身につけます。
- ②全学教育科目の中の基礎セミナーによって、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」および「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション力」の基礎を身につけます。
- ③全学教育科目の中の文系基礎科目や文系教養科目で、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」の概略を学びます。
- ④専門科目の履修によって、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」を修得し、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」や「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション能力」、「高い異文化理解能力と言語運用能力」を高めます。
- ⑤これらの能力について、小論文や筆記試験、口頭発表、討議への貢献度など、各授業において定める方法によって単位認定を行います。
- ⑥卒業論文を書き上げることによって、これらの能力が身についたことを確認します。
- ⑦カリキュラム全体の履修を通して、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を身につけます。

入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

（1）入学者受入れの方針

文学部では、養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力を備え、人間の営為としての言語・文化・歴史に深い関心を持ち、社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考えることに意欲がある人」を入学者として選抜します。

（2）選抜の基本方針

●推薦入試（大学入試センター試験を課さない）

文学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れた者を対象として、アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、調査書、志願理由書等の提出書類、小論文の成績および面接の結果を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は提出書類および面接によって判定します。「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、提出書類、小論文、面接によって総合的に判定します。なお、出願の際は、外国語の能力を示すスコアや国際バカロレアのスコア、SSH、SGHにおける活動状況等に関する書類を提出することができます。

1 推薦入試の概要

本試験は、大学入試センター試験を課さない推薦入試です。しかしながら、入学後に伝統のある人文学の諸分野において学修を積むためにも、受験者には高等学校教育課程の全般における深い学習が求められます。なお、国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一つの大学・学部です。

2 募集人員

15名

3 推薦入試の対象者

次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、かつ①から③のすべてを満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者

- ① 人文学の学修に強い意欲を持ち、学業及び人物ともに傑出し、学校長等が責任をもって推薦できる者
- ② 調査書の学習成績概評がA段階である者
- ③ 合格した場合には必ず入学することを確約できる者

4 推薦人員

各高等学校等が推薦できる人数は、2名以内とします。

5 出願書類等

- (1) 志 願 票(本学所定のもの)
- (2) 写真票, 受験票, 領収証書, 領収証書(控)(本学所定のもの)
- (3) 検 定 料 17,000円

検定料は必ず普通為替(郵便局)とし、受取人指定欄等は一切記入しないでください。

(注) 1. 第1次選考で不合格となった者には、13,000円を返還します。

2. 上記1に該当する者には、第1次選考結果通知の際に返還金請求書用紙を送付しますので、平成31年1月25日(金)までに申し出てください。

3. なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。

- (4) 学校長等の推薦書(本学所定のもの)

本書式は名古屋大学ホームページ(<http://www.nagoya-u.ac.jp/>)→入学案内→学部募集要項/大学案内など)からダウンロードすることができます。

(5) 調査書(文部科学省所定の様式により学校長等が作成したもの)

高等学校等の進路指導ご担当の方々へ
本学では、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力、ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄にAと標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。

(6) 志願理由書(本学所定のもの)

(7) 受験票送付用封筒 1通(本学所定のもの)

出願者本人の郵便番号、受信場所及び氏名を記入し、362円切手(速達)を貼ってください。

(8) 返信用封筒 2通(第1次選考結果通知用、本学所定のもの)

1通は、本人あてに送付するもので、郵便番号、受信場所及び氏名を記入し、362円切手(速達)を貼ってください。

もう1通は、学校長等あてに送付するもので、郵便番号、学校所在地及び学校名を記入し、362円切手(速達)を貼ってください。

(9) 連絡用シール(第2次選考結果通知用、入学手続通知用、本学所定のもの)

(10) 任意で提出を求める書類(提出できる書類は3つまでとします。)

本学所定の用紙に提出する書類名などを記入し、任意で提出する書類の写しを挟み込んでください。

高等学校等の進路指導ご担当の方々へ
記載確認者は、学級担任等であり、記載内容について確認できる教諭としてください。

※ 以下、任意で提出を求めるもの

語学力を示す各種試験のスコア(TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC・HSK・中検・DELTA/DALF・仏検・Goethe-Zertifikat・独検等)、国際バカロレアのスコア、スーパーグローバルハイスクール・スーパーサイエンスハイスクールにおける活動、全国規模・地方規模の人文学分野のコンテスト等への参加状況、科学オリンピック等の実績、その他各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等

6 出願方法

(1) 出願は郵送に限ります。(持参による出願は認めません。)

(2) 出願書類等は、本学所定の封筒に入れて厳封の上、学校長等を経由して書留で郵送してください。

(3) 同一学校から2名の志願者がある場合でも、**志願者ごとに**前記(2)に従って郵送してください。

なお、出願の制限について、以下の点に留意してください。

① 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部に限られます。

② 本学の推薦入試で不合格となった場合には、大学入試センター試験を受験の上、国公立大学の一般入試に出願することができます。

③ 出願後は、提出した書類の書き換え及び返却は認められません。

④ 志願票をはじめ出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合には、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

7 出願書類等の郵送先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町B4-4(700) 名古屋大学文学部 入試担当

8 出願書類等の受付期間

平成30年11月1日(木)～同年11月7日(水) 午後4時必着

9 受験票の交付

受験票は、本人あてに平成30年11月9日(金)に発送します。

なお、平成30年11月11日(日)までに到着しない場合は、文学部入試担当へ確認してください。

10 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ本学部と相談してください。

(1) 相談の時期

平成30年9月28日(金)まで

(2) 相談の方法

以下の3点の書類を提出してください。なお、必要と判断される場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

また、適宜、下の3点以外の書類を添付してもかまいません。

- ① 障害等の状況及び受験上の配慮を希望する事項等を記載したもの(A4サイズで様式は自由)
- ② 障害等に関する医師の診断書、障害者手帳等(写しでも構いません)
- ③ 出身学校関係者の添書(学校での生活状況及び学習上の配慮状況等を記載したもの)

(3) 連絡先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町B4-4(700) 名古屋大学文学部 入試担当

〔電話 052-789-2206・2207〕

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、お問い合わせください。

11 選抜方法及び合格判定基準

選抜は、第1次選考(書類審査)と第2次選考(小論文及び面接)とにより行います。

- (1) 第1次選考は、書類審査(推薦書、調査書及び志願理由書)により行い、約30名を第1次合格者とします。

第1次選考結果の通知書は、平成30年11月14日(水)に学校長等及び本人あてに発送します。その際、第1次合格者に対しては、第2次選考にかかる連絡事項を併せて通知します。(選考結果の電話等による問合せには応じません。)

なお、平成30年11月16日(金)までに第1次選考結果の通知書が到着しない場合のみ、学校長等を通して文学部入試担当へ確認してください。

(2) 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して下表のとおりに行い、総合的に判定します。

| 試 験 日 時 | 試 験 区 分 | 試 験 場 所 |
|----------------|---------|-----------|
| 平成30年11月21日(水) | | |
| 9時30分～12時30分 | 小 論 文 | 名 古 屋 大 学 |
| 13時30分～17時00分 | 面 接 | 文 学 部 |

【注】(1) 小論文は、英語の文章を読み、日本語で論述する形式です。

【注】(2) 面接は、複数教員による15分程度の個人面接です。受験者は志願理由書に基づき5分間のプレゼンテーション(Microsoft Power Point や手持ちの資料などは利用できません。)を行い、それに対して10分程度の質疑応答が行われます。

【注】(3) 試験の集合時間、場所等の詳細は、第1次選考結果通知書で通知します。

【注】(4) 任意で提出された書類については、第2次選考の参考にします。

12 合格者の発表

平成30年11月28日(水)午前11時、名古屋大学文学部玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、学校長等及び本人あてに選考結果の通知書を発送します。

なお、インターネットの下記サイト(パソコン、スマートフォン、携帯電話共通)で合格者の受験番号を確認することができます。ただし、インターネットでの発表はあくまでも参考としてください。

URL <http://daigakuic.jp/nagoya-u/>

また、合格者に対しては、入学手続関係書類及び入学確約書用紙を別途発送します。

(選考結果の電話等による問合せには応じません。)

13 入学手続

入学手続は、下記のとおりとします。

なお、詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続は平成31年2月中旬に行います。(別途通知)

(2) 授業料等学生納入金(予定額)

入 学 料 282,000円(入学手続時納入金)

授 業 料 前期分 267,900円

年 額 535,800円

【注】入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。なお、一旦納入した入学料は返還しません。

(3) 留意事項

① 推薦入試合格者は、別途通知する期日に入学手続を必ず行ってください。

② 入学手続完了者は、本学及び他の国公立大学・学部的一般入試を受験しても、その合格者とはなりません。

(ただし、次頁「14 入学辞退」により入学辞退の許可を得た者は除きます。)

14 入学辞退

推薦入試の合格者の入学辞退は、認められません。特別な事情により本学に入学することができなくなった場合には、当該者の推薦を行った学校長等からの「推薦入学辞退願」を平成30年12月7日(金)午後4時までに文学部入試担当に提出し、許可を得なければなりません。許可された者のみ、本学及び他の国公立大学の一般入試を受験することが認められます。

なお、その他特別な事情が発生した場合には、速やかに文学部入試担当に連絡してください。

15 一般入試との併願

推薦入試による選抜の結果不合格になった者は、本学及び他の国公立大学の一般入試を受験することができます。

なお、本学文学部の一般入試(前期日程)を受験する場合には、大学入試センター試験を受験の上、平成30年11月下旬公表予定の募集要項に従って出願手続を行ってください。

16 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
- (2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うため、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度内で個人情報の全部又は一部を提供します。
- (5) 国公立大学の一般入試による合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

17 その他

推薦入試に関する照会については、下記において取り扱います。

〒464-8601

名古屋市千種区不老町B4-4(700) 名古屋大学文学部 入試担当

〔電話 052-789-2206・2207〕

郵便での照会に当たっては、照会者本人の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒(定形、82円切手を貼ったもの)を同封してください。

【推薦入試募集要項、選抜要項、大学案内及び学部紹介冊子の請求】

本学のホームページから請求する場合

本学のホームページからモバっちょを利用してセンター試験を課さない推薦入試学生募集要項(文学部), 選抜要項, 大学案内及び学部紹介冊子の資料が請求ができます。(名古屋大学ホームページ (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) トップページの「入学案内」→「学部募集要項/大学案内など」→「募集要項・大学案内等の入手方法」)

※インターネット出願の導入により, 一般入試学生募集要項及びセンター試験を課す推薦入試学生募集要項について, 冊子体での配付は行いませんので, ホームページから閲覧又はダウンロードしてください。

『モバっちょ』から請求する場合

携帯電話, スマートフォン, パソコンから請求できます。



<http://djc-mb.jp/nagoya-u9/>

【料金の支払い方法】

1 請求時払い

携帯払い, スマホ払い, クレジットカード払いができます。(別途手数料が50円必要です。)

※携帯電話・スマホの機種, 携帯電話会社との契約状況によって, 通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合, コンビニ後払いを選択してください。

2 コンビニ後払い

資料到着後, コンビニでお支払いください。(別途手数料が126円必要です。)

■上記請求方法についての問合せ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL. 050-3540-5005 (平日 10:00 ~ 18:00)

【学 生 生 活】

1. 修 学 費 援 助

(1) 奨 学 金

人物・学業ともに優れた学生であって、経済的理由により修学が困難と認められる場合には、日本学生支援機構をはじめ、地方公共団体、民間奨学事業団体等から奨学金が給与(給付)・貸与される制度があります。いずれも、選考の上、決定されます。

日本学生支援機構奨学金の詳細は、ホームページ(<http://www.jasso.go.jp/>)にて確認してください。募集日程等については、入学後まもなく、学内の掲示板にてお知らせします。名古屋大学での照会先は以下のとおりです。

照会先 学生支援課〔電話 052-789-2175〕

それ以外の奨学金については、名古屋大学のホームページに募集中のものを掲載しています。応募は、入学した後になります。照会先は以下のとおりです。

照会先 学生支援課〔電話 052-789-2174〕

(2) 入 学 料 の 免 除 及 び 徴 収 猶 予

学費負担者が、入学前1年以内に死亡または風水害等に被災するなど、特別な事情により入学料の納入が著しく困難と認められる場合は、選考の上、入学料の全額又は半額が免除あるいは徴収猶予される制度があります。名古屋大学のホームページにも記載されていますが、詳細はおって送付する入学手続要領を参照してください。

照会先 学生支援課〔電話 052-789-2172〕

(3) 授 業 料 の 免 除

経済的理由により授業料の納入が困難で、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、選考の上、授業料の全額または半額が免除される制度があります。名古屋大学のホームページにも記載されていますが、詳細はおって送付する入学手続要領を参照してください。

照会先 学生支援課〔電話 052-789-2172〕

2. 学 生 の 宿 舎 等

(1) 名古屋大学国際嚶鳴館

- ① 所 在 地 等 〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165
名古屋大学東山キャンパスから南へ約700m(徒歩:10分, 自転車:5分)
- ② 入 居 定 員 291名(うち, 外国人留学生60人)
- ③ 入 居 期 間 原則として1年(審査の上, 延長可能)
- ④ 施 設 概 要 居室は個室(13㎡), キッチン, リビング, 洗濯室は共同利用です。
- ⑤ 設 備 概 要 居室には, 机・椅子, ベッド, ワードローブ, 戸棚, ユニットバス, トイレ, エアコンが備え付けられています。
- ⑥ 経 費 寄宿料月額16,000円(共益費を含む), 光熱水量(実費)
ただし, 寄宿料は平成29年度から段階的に引き上げます(平成31年度は月額14,100円, 平成32年度以降は月額16,000円)。

⑦ 申込資格 自宅（生計を一にする家族の住居）から通学に要する時間が、片道2時間以上であること。

⑧ 審査 経済的状况により審査を行い、困窮度の高い者から許可します。

例：年収(給与収入)が4人家族(両親,本人,私立高校在学の弟または妹)で700万円以下

⑨ 申込方法等 宿舍申込方法等は、入学手続要領、ホームページで案内します。

(2) 下宿（アパート、マンション）

入居希望者には、名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）において、下記により紹介します。

| 期 間 | 時 間 | 会 場 |
|--|---------------|--------------------------|
| 平成30年12月1日(土)(予定) | 10時00分～16時00分 | 東山キャンパス 南部食堂2階「彩」(予定) |
| 平成30年12月22日(土)(予定) | 同 上 | 同 上 |
| 平成31年2月5日(火)(予定) | 同 上 | 同 上 |
| 平成31年2月7日(木)～14日(木)(予定) 平成31年2月16日(土)(予定) | 10時00分～16時00分 | 同 上 |
| 平成31年2月24日(日)(予定) | 11時00分～17時00分 | 同 上 |
| 平成31年2月25日(月)～26日(火)(予定) 平成31年3月2日(土)(予定) | 10時00分～16時00分 | 同 上 |
| 平成31年3月8日(金)～15日(金)(予定) | 同 上 | 東山キャンパス 全学教育棟(予定) |

部屋代はワンルームタイプで35,000円～65,000円程度。

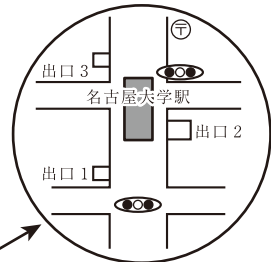
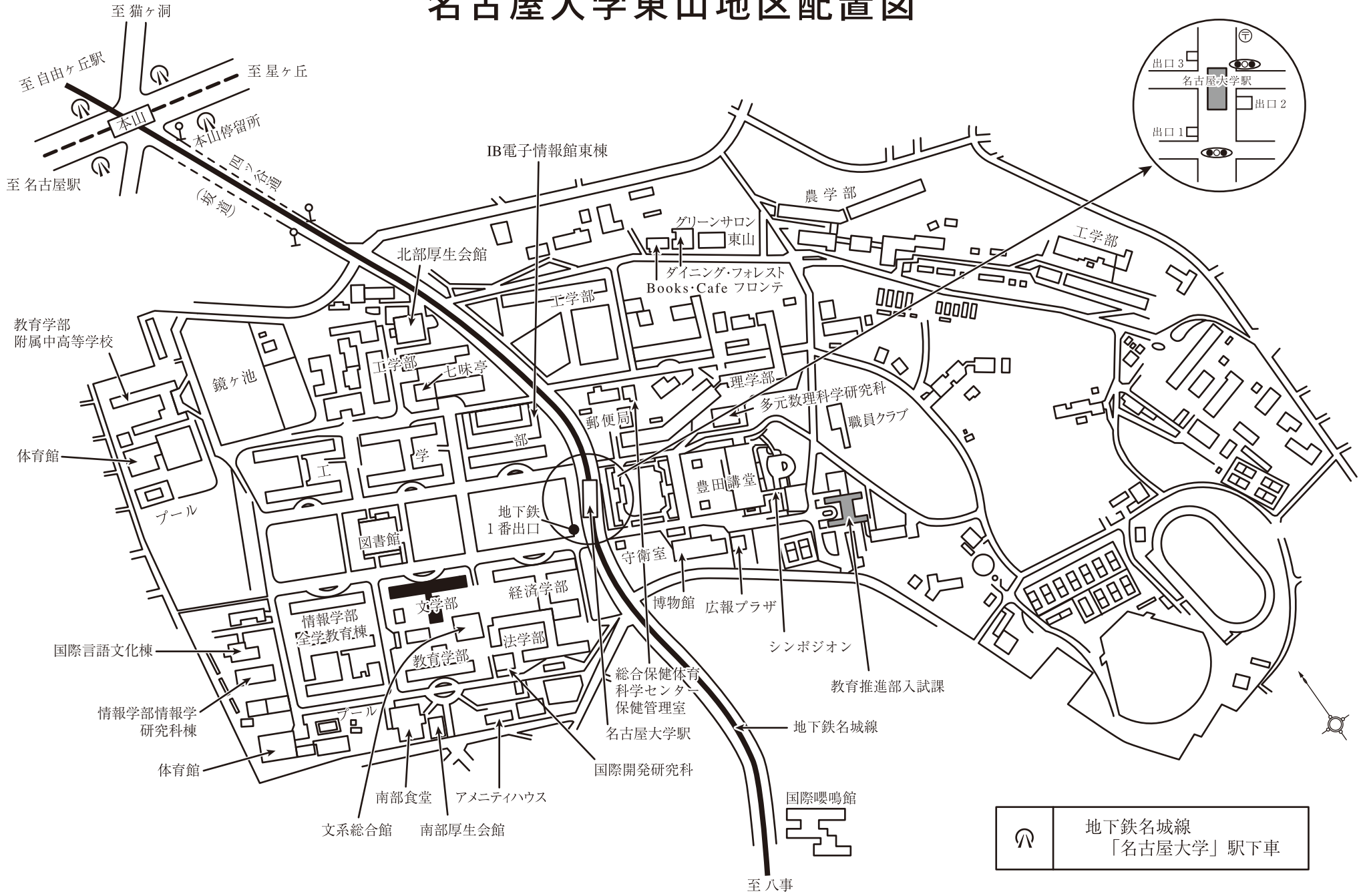
食事付き学生会館も紹介しています。


12月から3月の日程等は予定です。確定し次第、名大生協のホームページ(<http://www.nucoop.jp/>)にて順次情報を掲載しますのでご参照ください。

また、来場時は来場予約をお願いいたします。

照会先 名大生協 住まいの斡旋コーナー〔電話 052-788-7875〕

名古屋大学東山地区配置図




 地下鉄名城線
 「名古屋大学」駅下車